目　次

目　次 ／ 水害ハザードマップについて …… 1
水害ハザードマップの使い方 …… 2
浦安市でおこる水害の種類 …… 3
５段階の警戒レベル …… 4
浸水継続時間図 ｜ 浸水到達時間図 …… 5
水害が発生したらどうなるの？ …… 6
台風がきたらどうする？ …… 7
避難前に確認すること① …… 8
避難前に確認すること② …… 9
待避所等に避難する場合の注意 …… 10
避難所等の役割 …… 11
自宅で避難（在宅避難）する場合の注意 …… 11
避難行動判定フロー …… 12
避難行動要支援者支援ガイド …… 13-14
待避所一覧 ｜ ペット待避所一覧 …… 15
マイ・タイムラインをつくろう …… 16
情報の収集 …… 17
浦安市水害ハザードマップ／マイ・タイムライン …… 別紙

洪水ハザードマップで想定している「江戸川」とは、浦安市上流域にある「江戸川放水路」のことを指し、本市を流れる「利根川水系旧江戸川」のことではありません。

浦安市では３種類の水害について、ハザードマップを作成しています。浸水する場所や深さ、いざというときに避難できる公共施設（待避所）などが記載されています。
本冊子の末尾に水害ハザードマップを付属しておりますのでご確認ください。

1．洪水ハザードマップ

大雨が降り続き河川の水位が上昇することによって、堤防が決壊し、洪水が発生したときの災害避難地図です。
本市では「江戸川」、「境川」、「見明川」、「猫実川」、「堀江川」を対象に洪水ハザードマップを作成しています。
※「旧江戸川」は千葉県による氾濫解析の結果、浸水域がないとされているため、作成の対象としていません。

2．高潮ハザードマップ

台風などの発達した低気圧が近づき、気圧や風の影響で東京湾の海面が堤防を乗り越えるほど上昇して【高潮氾濫】が発生したときの災害避難地図です。
本市では２つの想定を用いて、２種類の高潮ハザードマップを作成しています。

3．内水ハザードマップ

局地的大雨等により雨水の排水能力が追いつかず【内水氾濫】が発生したときの災害避難地図です。
本市では1時間最大雨量 114mm が本市で生じた場合の想定を用いて、内水ハザードマップを作成しています。

水害ハザードマップの使い方

この水害ハザードマップを使って、いざというときに備えましょう。

使い方｜❶ "知る"

お住まいの地域は、どのような水害の危険性があるか確認しましょう

大雨・台風時にはどの河川の氾濫により浸水するか、高潮の影響を受けるおそれがあるかなど、ハザードマップで確認しましょう。

注意 被害想定がない区域においても、状況に応じて避難を考えましょう。

使い方｜❷ "気づく"

想定される水害に応じて、避難のタイミングと避難先を確認しましょう

気象庁が発表する気象警報や、市が発令する避難情報によって、とるべき避難行動は変わります。
状況に応じた適切な避難行動を考える重要性に気づき、避難のタイミングや避難先を確認しましょう。

早めの避難先

たとえばこんなところへ・・・
◎親せき・知人宅など、市内に限らず、より安全な場所

逃げ遅れたときの避難先

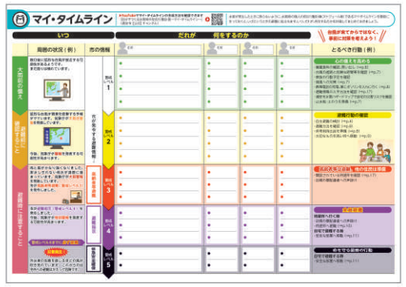
たとえばこんなところへ・・・
◎高くて丈夫な建物や高い場所
◎自宅の高いところ

裏表紙の「緊急時の連絡先」に書き込みましょう

使い方｜❸ "考える"

日ごろの備えを確認し、マイ・タイムラインを作成してみましょう

「マイ・タイムライン」とは、大雨や台風などの風水害に備えて、一人ひとりの生活の状況に合わせた避難行動（自分の逃げ方）を考えておくものです。
災害時には様々な情報が発信されます。いざというときにすぐ行動できるよう、掲載している情報や、マイ・タイムラインを活用し、避難行動を整理することで、日ごろから備えについて考えましょう。



※マイ・タイムラインは巻末の別紙参照